

通 告 質 問 一 覧 表

(令和3年12月定例市議会)

順 位		通 告 者	項 目 及 び 要 旨
発言	受付		
1	7	3 番 新 倉 淳	<p>1 本市の農地の保全について</p> <p>(1) 集落協定、中山間地域等直接支払交付金制度の推移を問う（第1期から今期までの協定数、協定人員、協定面積）</p> <p>(2) 有害鳥獣対策での過去10年間の補助金額、駆除数、被害面積、被害額の推移を問う</p> <p>(3) 荒廃農地の過去10年間の推移を問う</p> <p>(4) 本市の荒廃農地の対策として、具体的な施策はあるのか</p>
2	1	13 番 小 林 重 樹	<p>1 令和4年度当初予算編成について</p> <p>(1) 「中期財政見通しについて」で年度別予算の推計値が示されたが、令和3年度と令和4年度を比較し歳入で約40億円の減額になっている。その要因は何か</p> <p>(2) 令和3年度から令和5年度の高梁市総合計画の実施計画における施策に影響はあるのか。あるとすればどの程度か</p> <p>(3) 今後経常収支比率が約95%前後で推移し、財政硬直化の中で投資的経費が圧縮され、市内事業者の経営を圧迫すると思うが、その手だては考えているのか</p> <p>(4) 令和3年度の施策の中で、コロナ禍による補助事業が多く部分を占め、かなり効果があったと思う。その他にもマイナンバーカード普及促進、産業振興対策が上がっているが、令和4年度予算の中で目玉となる施策、事業はどのようなものが想定されるか</p> <p>2 定住対策につながる住宅施策について</p> <p>(1) 住宅取得に関する支援制度の支援状況及び成果はどうか</p> <p>(2) 市が管理運営する市営住宅等の入居状況はどうか。また、空室を活用した定住対策が図れないか</p> <p>(3) 市内の民間の分譲宅地の開発、販売動向はどうか。また、市の分譲宅地の整備状況はどうか</p> <p>(4) 単独住宅臥牛団地について</p> <p>① 廃止予定の単独住宅臥牛団地の現状とこれからの予定はどうか</p> <p>② 単独住宅臥牛団地を用途廃止した後の施策として、分譲団地や子育て支援マンションを整備できないか</p>

順位		通 告 者	項 目 及 び 要 旨
発言	受付		
3	8	5 番 伊 藤 泰 樹	<p>1 ウッドショック対策について問う</p> <p>(1) 木材、木製品、林産物の急激な価格高騰に伴い、建築費が大幅に膨らむ事例を市内でも耳にするが、新築だけでも対策を検討してはどうか</p> <p>2 タクシー利用助成実証事業について</p> <p>(1) 事業が始まって1年になるが、利用状況と利用者の声を問う</p> <p>(2) 事業の拡充について問う</p> <p>① 70歳以上の高齢者講習受講者に対象者を拡充できないか</p> <p>② 路線バスや生活福祉バスが減らされる地域に対象地域を拡充できないか</p> <p>3 市道及び農道の維持管理について</p> <p>(1) 中央線、車道外側線の引き直しの予算を拡充すべきではないか</p> <p>4 市内の高校について</p> <p>(1) 市内には県立・市立を合わせて4校の高等学校があるが、各校定員に大幅に満たない状況についての分析と対応について問う</p> <p>(2) 市立高等学校の教職員拡充が必要ではないか</p> <p>5 選挙について</p> <p>(1) 市の主権者教育の現状について問う</p> <p>(2) 期日前投票所の拡充について</p> <p>① 大型商業施設への設置を検討すべきではないか</p> <p>② 移動投票車の取組を検討すべきではないか</p> <p>(3) 選挙執行費用の経費削減と公報の在り方について</p> <p>① 選挙公営ポスター掲示場設置箇所の変更削減と、それを補う公報の在り方の検討をすべきではないか</p>
4	6	11 番 三 村 靖 行	<p>1 中期財政見通しについて</p> <p>(1) 経常収支比率について、今後94%前後で推移するとあるが、これでは自由に使えるお金が少ない。これ以上改善することはできないのか</p> <p>(2) 普通建設事業が令和7年度以降は令和5年度の半分まで下がる見込みとなっている。地域の経済対策、雇用対策としてハード事業に取り組むべきではないか</p> <p>(3) 特定目的基金が、今後1/3以下になる見込みであるが、その要因は何か</p>

順位		通 告 者	項 目 及 び 要 旨
発言	受付		
4	6	11 番 三 村 靖 行	<p>2 高梁市立地適正化計画について</p> <p>(1) 高梁市立地適正化計画は理解しにくい計画ではないか。 市民に精通また理解してもらっているのか</p> <p>(2) 厳しい財政状況の中、計画を進めることができるのか</p> <p>(3) この計画をすることよってのメリットはあるのか</p> <p>3 有害鳥獣対策について</p> <p>(1) 有害鳥獣被害対策として必要な花火を扱うには動物駆逐 用手帳を取得しなければならない。市内で約 320 人が取得 しているが毎年講習費用が必要であり、これの補助はでき ないか</p> <p>(2) 農家を守るため有害鳥獣の追い払いに花火を毎年 5,000 本以上消費して大きな金額となっているが、補助はできな いか</p> <p>(3) 追い払い用花火を市民センターで保管しているが安全な のか</p> <p>4 野球場の施設について</p> <p>(1) 平松政次球場、成羽球場の老朽化したスコアボードを電 光掲示板に改修できないか</p> <p>(2) 両球場ともに、外野の芝生が激しく傷んで凸凹状態にあ りプレーに支障を来している。この状況をどのように対応 しようとしているのか</p>
5	4	2 番 平 松 久 幸	<p>1 グリーンスローモビリティ実証運行について</p> <p>(1) 利用実績とアンケート結果を問う</p> <p>(2) 観光、買い物支援、外出支援など期待されるが、導入予 定はあるのか</p> <p>2 高梁市の生活交通の在り方について</p> <p>(1) 「第 2 次高梁市地域公共交通網形成計画」では路線バス と生活福祉バスの見直しを進めているが、現在の進捗状況 を問う</p> <p>(2) 過疎化、マイカー化等、路線バスの利用者は低下してい る。現在バス運行に多額の財政負担をしている。事業者は 経営改善努力より、どうやって補助金をもらうかが経営目 的になってしまっているのではないのか</p> <p>(3) 定時定路線の運行は見直し、ドアツードアのようなデマ ンド型に移行する必要があると考える。今後、本市はどの ようにしていくのか</p>

順位		通 告 者	項 目 及 び 要 旨
発言	受付		
5	4	2 番 平 松 久 幸	<p>3 マイナンバーカードの利用促進について</p> <p>(1) 本市の現在の普及率を問う</p> <p>(2) 国では、引き続きマイナポイントの付与を想定しているが、その先の利用、メリットをどうするかが課題である。今後どのようにマイナンバーカードの活用を考えているのか</p> <p>(3) 総合計画の理念に「健幸都市たかはし」を掲げていることから健康教室、介護予防教室、食育教室など研修等に参加すればポイントを付与される仕組みを作り、地域の商店で消費になり、経済循環するのではないのかと思うがどうか</p> <p>4 本市の財政状況について</p> <p>(1) 経常収支比率の数字が高い。本市の財政は硬直化が進んでいるのではないのか</p> <p>(2) 令和4年度以降は収支不足が続くとの説明であったが、今後どのように財政運営を行っていくのか</p>
6	13	9 番 石 田 芳 生	<p>1 通学、通園の安全について</p> <p>(1) 全国で通学や通園中の痛ましい事故が発生している。事故は車両の運転手の過失や重過失によるものではあるが、学校園では命の大切さ、歩行者自ら身を守る指導を行っているのか</p> <p>(2) 市内の通学路について多くの要望が出されている。通学路や歩道改修は車道よりも優先されているのか</p> <p>(3) 通学路の改修ができないのであれば、公共交通の活用も考えるべきではないか</p> <p>2 高梁認定こども園建設について</p> <p>(1) 建設予定地は高梁市図書館、駅東側ロータリー、高梁城南高等学校グラウンド、NTT西日本敷地と隣接している。また、総合文化会館、文化交流館も近くにあるが、これらの施設等の利活用も視野に入れるべきではないのか</p> <p>(2) 高梁認定こども園周辺道路の通行や今後の整備、排水、施設から発生する音等について、周辺地域と十分な調整ができていますか</p> <p>3 次期環境基本計画について</p> <p>(1) 家庭ごみの量が多いことの原因をどのように分析し、今後どのように取り組むのか</p> <p>(2) 温室効果ガス排出量の抑制については、どのように取り組むのか</p> <p>(3) 計画の推進については、どのような体制を考えているのか</p>

順位		通 告 者	項 目 及 び 要 旨
発言	受付		
7	11	10 番 石 部 誠	<p>1 国保税の引下げについて</p> <p>(1) 今後の国保税の市民負担について問う</p> <p>① 不納欠損の状況と今後の対応について</p> <p>② 基金を取り崩して、国保税の軽減を求める</p> <p>2 電気自動車の充電施設の増設について</p> <p>(1) 高梁市の充電施設の現状と、今後の増設計画について問う</p> <p>3 選挙事務について</p> <p>(1) 10月31日執行の衆議院議員総選挙及び最高裁判所裁判官国民審査における開票立会人の職務と選挙管理委員会の対応について問う</p> <p>(2) 巡回投票所（自動車）の導入で、有権者の投票機会の確保を求める</p>
8	12	15 番 川 上 修 一	<p>1 県道新見川上線について</p> <p>(1) 市として、県との協議がどこまでできているのか</p> <p>(2) 車両の大型化に伴い危険度が大きくなっている。また、産業道路としても早急な改良ができることに多くの人が安堵しているが、変更のないよう市も県の方にしっかりと申入れを続けていただきたい</p> <p>2 高梁市の基幹産業である農業について</p> <p>(1) 国では今食糧の自給率について議論をされているが、市としてはどのような考えを持っているのか</p> <p>(2) 定住対策について、新規就農者に対し他の自治体がない魅力ある施策はあるのか。また、将来の計画はあるのか</p>
9	10	7 番 森 上 昌 生	<p>1 高梁市の観光戦略について</p> <p>(1) 観光課が駅前通りに移転したが、どのように評価しているのか</p> <p>(2) 観光課の移転に伴う経費と費用対効果をどのように評価しているのか</p> <p>(3) 山田方谷の大河ドラマ化の可能性はどの程度あるのか</p> <p>(4) 仮にドラマ化が実現した場合に、経済効果はどの程度想定されるのか</p> <p>(5) 山田方谷が大河ドラマ化された場合に、効果的な受入態勢は構築できるのか</p> <p>(6) 現在放映中のNHK朝ドラ「カムカムエヴリバディ」はあまり効果的に利用されていないのではないのか</p> <p>(7) 高梁市に来られた観光客に提供する食事、土産物の開発が不十分ではないか</p> <p>(8) 猫城主さんじゅーろーを目当てに高梁市を訪れる観光客も多いはずだが、市内のいたるところに野良猫に迷惑しているといった趣旨の看板が掲げられている。違和感を感じないのか</p>

順位		通 告 者	項 目 及 び 要 旨
発言	受付		
10	3	1 番 金 尾 恭 士	<p>1 コロナ禍における高梁市の市民生活、経済活動について</p> <p>(1) 2年に及ぶコロナ禍で、高梁市の市民生活、経済活動も大きく影響を受けている。支援金や補助金が家庭や企業に支給された。この2年の地域の経済状況の把握について問う</p> <p>(2) 市民生活、経済活動は、令和4年度の地方税、地方交付税にも大きく影響すると考えられるが、どのように考えられているのか</p> <p>2 高梁市中期財政見通しについて</p> <p>(1) 令和元年度市町村財政比較分析表によると、高梁市の財政力指数は0.31であり類似団体128中89位である。財政の分析では、人口減少、長引く景気低迷で個人・法人の税収の大幅な増収は見込めない。歳入の年度別推計値を見ると、地方税（平均約38億円）、地方交付税（平均約100億円）の自由に使える一般財源は、これから先約10年持続可能な予算が立てられているが、この推計の根拠を問う</p> <p>(2) 令和4年度の歳入は、コロナ禍の影響で、経済の低迷により、税収も大きく落ち込むだろうと予測されている。こういった推計値は適正なのか</p> <p>(3) 令和元年度の人件費が歳出に占める割合は26.5%である。職員管理とも関わるが、人口1,000人当たり15.76人であり、類似団体128中124位である。令和5(2023)年度からは、公務員の定年が65歳に段階的に引き上げられる。どのように人件費、職員数を抑制していくのか。あわせて令和12年度経常収支比率92.1%の根拠を問う</p> <p>3 学校園の安全対策について</p> <p>(1) 遊具の点検は、学校園でも月に1度行っているが、専門業者の点検回数を増やすことが必要ではないか。また、市の通学路交通安全プログラムによる点検をされ、どのように改善していくのか。路面のグリーンベルト舗装などの安全対策を行うべきではないか</p> <p>4 脱炭素宣言について</p> <p>(1) 岡山県は、令和2(2020)年8月「脱炭素宣言」を行っている。岡山市、倉敷市、総社市、吉備中央町も行っている。SDGsの推進とともに、高梁市として「脱炭素宣言」を行う必要があると考えるが、見解と、これからの対応を問う</p> <p>5 小規模基盤整備事業について</p> <p>(1) 川上町を例に挙げれば、畑地かんがい事業で整備が行われているが、休耕田も多くある。農地の有効活用をする上でも「小規模基盤整備事業」を実施してはどうか。新規就農者を誘致していくためにも、地域住民と一体化した構造改善が必要ではないか</p>

順位		通 告 者	項 目 及 び 要 旨
発言	受付		
10	3	1 番 金 尾 恭 士	<p>6 森林環境譲与税について</p> <p>(1) 森林の荒廃が年々進んでいる。森林環境譲与税を活用して、長期的な森林保護、森林事業者の後継者・新規事業者の養成を行うことが必要ではないか</p> <p>7 小・中学校の外国語科について</p> <p>(1) 市内の小学校の外国語科・外国語活動の現状と課題について問う。5・6年生の外国語科において英語単語を700覚えなくてはならない。「読むこと」「聞くこと」「話すこと(やりとり)」「話すこと(発表)」「書くこと」の4技能5領域は目標達成の重要な要素であるが、学習の現状は順調なのか</p> <p>(2) 市内の小学校外国語科と中学校外国語科との接続はうまくいっているのか。中学校に進学すると、英単語を3年間で約1,800習得しなければならない。外国語科の教科書の内容も大変盛りだくさんである。例えば、SDGs、国際協力も教科書で扱っている。小中の外国語科の学習のギャップが子供たちに大きく影響するといわれているが、どのような手だてを考えているのか</p> <p>(3) 令和3年度より、中学校では新しい教科書で学習が行われている。小学校は平成29～令和元(2017～2019)年、中学校は平成30～令和2(2018～2020)年で、移行措置が設けられていた。特に中学3年生は、新学習指導要領に対応した副教材で学習し、令和3年度に臨んでいると思うが、移行措置は順調にしているのか</p> <p>8 聴覚障害について</p> <p>(1) 高梁市には、「高梁市手話言語条例」(平成29年3月21日制定)がある。市役所には、常駐の手話通訳者の方もおられ、「聴覚障害者」の方の意思疎通もスムーズにできている。しかし、高齢になると、中途難聴の方も多くなり、外出することもできづらくなっている。多様なコミュニケーション手段の促進のため、公共施設の窓口に「耳マーク」「筆談ボード」を設置し、コミュニケーション手段の一助としてはどうか</p> <p>(2) 公共の講演会に「手話通訳者」「要約筆記者」を配置し、「手話通訳・要約筆記あり」をパンフレットに印刷し広報すること、また「高梁市意思疎通支援事業」を市民に周知し、難聴者・中途失聴者の社会参加を後押ししてはどうか</p> <p>9 若者の政治参加について</p> <p>(1) 大学生や若者を対象とした仮称「大学生若者議会」を実施することで、高梁市への具体的提言があると考え、見解を問う</p>

順位		通 告 者	項 目 及 び 要 旨
発言	受付		
11	2	16 番 川 上 博 司	<p>1 ごみ出し支援について</p> <p>(1) 高齢者や障害者等、ごみ出しが困難な世帯に対し、集積所までごみを出すとともに、見守りや声かけをする支援団体を登録して行うごみ出し支援事業を実施すべきではないか</p> <p>2 遺族支援について</p> <p>(1) 死亡後に行う手続について、書類は何種類あるのか。手続にかかる時間はどれくらいか</p> <p>(2) 遺族の負担軽減のために専用窓口とお悔やみコンシェルジュの設置、ハンドブックの作成を検討すべきではないか</p> <p>3 若者支援について</p> <p>(1) 本市の定住につながる若者支援の政策はどのようなものがあるのか</p> <p>(2) 若者の定住などを条件に貸与型奨学金の返済を国や自治体が肩代わりする支援制度を実施する動きが全国的にあるが、本市でも検討すべきではないか</p> <p>(3) 若者の声を市政に反映させるために、大学生議会、若者議会を実施すべきではないか</p>
12	5	12 番 宮 田 好 夫	<p>1 防災事業について</p> <p>(1) 土砂災害警戒（特別警戒）区域について</p> <p>① どのような防災対策を行っているのか</p> <p>② 開発や居住についての制約はあるのか</p> <p>③ 防災や減災の施設の設置は考えているのか</p> <p>(2) 大規模な盛土の調査は終わっているのか</p> <p>(3) 斎場移転事業について検討状況はどうか</p> <p>(4) 新消防庁舎整備事業の進捗状況はどうか</p> <p>(5) 広瀬地区緊急避難施設整備事業の状況はどうか</p> <p>2 定住・移住の推進について</p> <p>(1) 子育て世帯賃貸住宅建設促進事業の状況について</p> <p>(2) 結婚新生活応援事業の状況と成果について</p> <p>(3) 分譲宅地造成事業の状況と成果について</p> <p>3 「カムカムエヴリバディ」について</p> <p>(1) NHK朝ドラ「カムカムエヴリバディ」が始まり好評を得ている。高梁市を全国に発信する良い機会だと考えるがどうか</p>

順位		通 告 者	項 目 及 び 要 旨
発言	受付		
13	9	6 番 森 和 之	<p>1 公園整備について</p> <p>(1) 神原スポーツ公園施設（野球場、テニスコート）の老朽化が目立つと感じる。神原荘の再開や旧朝霧温泉ゆ・ら・らの跡地活用が決定したこともあり、整備が必要と考えるがどうか</p> <p>(2) 市内の公園には、日陰やベンチなど、くつろげる場所が少なく感じるがどうか</p> <p>2 高梁市歴史的風致維持向上計画（第2期）について</p> <p>(1) 計画全般について</p> <p>① 第1期計画（11年間）の成果と反省点を問う</p> <p>② 第1期計画の基本方針を引き継ぐものであるが、新たに計画に追加されたものはあるのか</p> <p>(2) 高梁地区重点区域における事業について</p> <p>① 計画が長期間にわたるのは理解できるが、人口減少に伴う空き家の増加、高齢化による住民の意識低下にどう向き合い、町並みを保存していくのか</p> <p>② 文化財の指定を受けていない老朽化の進む歴史的建造物をどうするのか</p> <p>③ 無電柱化事業は進むのか</p> <p>④ 城山ウオーキングコース整備事業について、新しいルート開発などの具体例はあるか</p> <p>3 職員の育成について</p> <p>(1) 専門的な知識を有する職員の育成が必要と感じるが、人事異動により職員のモチベーションが下がるようなことはないのか</p> <p>(2) 専門的な職員の養成は市民にとっても、財政的にみても利点が高いと思うがどうか</p>